



2025 年 12 月 9 日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号: 9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、

2 日間合宿型『売れる AI リスキリング研修・合宿コース』を提供開始

～ “自社 AI プロジェクトの原型” をつくる短期集中プログラム～



**売れるネット広告社グループ、
2日間合宿型『売れるAIリスキリング研修・合宿コース』を
提供開始**

～自社AIプロジェクトの原型”をつくる短期集中プログラム～

売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である売れる AI マーケティング社株式会社は、リアル合宿型 2 日間の短期集中『売れる AI リスキリング研修・合宿コース』を提供開始いたします。

日本における生成 AI 活用率は依然として 25.8%※1 にとどまり、さらに 40%以上の企業が「AI を使う予定しない」と回答しているという衝撃的なデータが複数の調査で明らかになっています。

しかしこれは「企業に意思がない」のではなく、現場メンバー・経営チームが“AI を学ぶ時間そのものが無い”という構造的問題に起因しています。

我々は、この“時間の壁”こそが、日本企業の AI 導入を阻む最後の巨大なボトルネックであると断言いたします。

だからこそ、売れる AI マーケティング社は今回、「AI に触れ、理解し、変革を構想する 2 日間」を強制的につくる合宿型プログラムを提供し、導入停滞を打ち破る最終兵器を市場に投下いたします。

※1 株式会社矢野経済研究所／2025 年 4 月 18 日発表・同社プレスリリースより

【AI 導入率 25.8%の日本に“本気の学習空間”を創造】

日本企業の AI 未導入の背景には、

「何から始めればいいのか分からない」

「日常業務に追われて学ぶ時間がない」

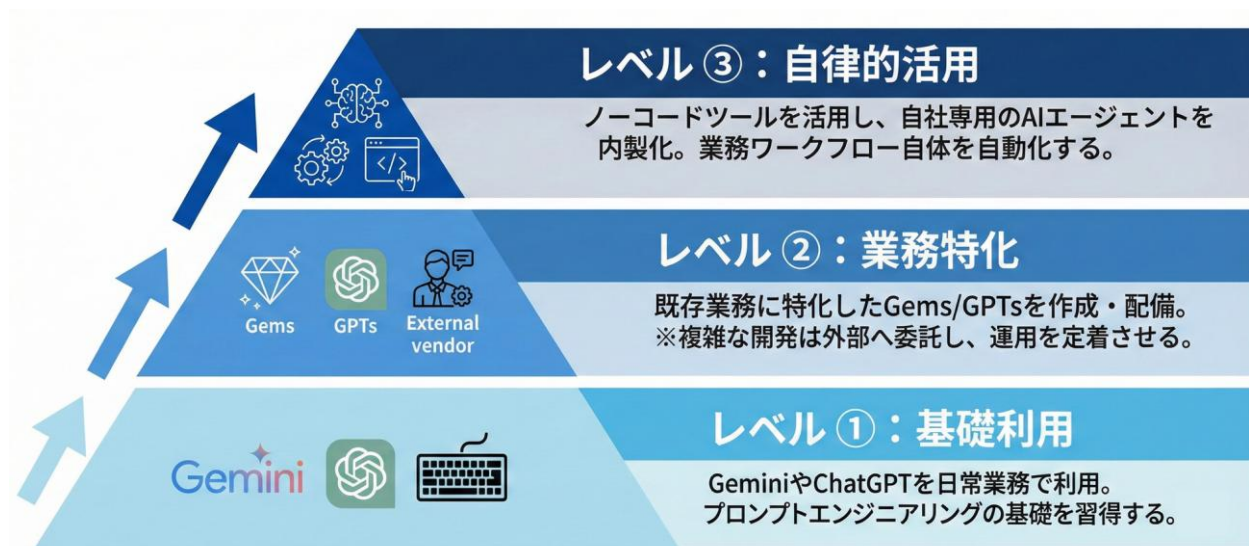
「AI の可能性を“自社の業務”に落とし込めない」

という“目に見えないハードル”が存在します。

そこで今回の新設コースは、オンライン講義や座学中心の研修とは一線を画し、

リアル会場での講師派遣＋合宿型 2days＝AI 理解の爆速ブースト

という、短期間で AI の本質を掴み“自社業務への適用”まで落とし込むための、極めて実践的なプログラムとして設計されています。



【2日間で“自社AIプロジェクトの原型”をつくる ― 合宿型の圧倒的没入設計】

本コースでは2日間の合宿を通じて、

- ・生成 AI/業務 AI の本質理解
- ・自社実務における AI 変革ポイントの発掘
- ・プロセス改善/業務自動化の設計
- ・AI 活用のユースケース作成
- ・自社における「導入ロードマップ」の策定

を一気通貫で行う、圧倒的没入型カリキュラムで構成されています。

その結果、受講企業は研修が終わった瞬間から

「明日から動ける AI 施策」

を手にした状態で帰宅することになります。

これは日本企業の多くが抱える

“AI を学んでも日常に戻ったら忘れてしまう問題”
を完全に解消する、究極のアプローチです。

【考える人材を“つくる”から、“覚醒させる”へ】

従来の AI 研修は「学ぶ」ことが目的化していました。
しかし、売れるネット広告社グループが提供するの
“学び → 変革 → 売上インパクト” までを必ず結びつける研修”。

その背景には、グループ全体を貫く

「再現性・成果主義・爆速 PDCA」
という文化があります。

本研修はその文化を AI 時代に最適化した、
“売れる式 AI リスキリング” の決定版
として市場を揺るがせることでしょう。

【今後の展望：AI リスキリング事業を“第二の柱”へ】

売れる AI マーケティング社では今後、以下のロードマップで市場を制圧してまいります。

《短期》

- ・合宿型 AI 研修を主力商品として確立
- ・法人向け AI 勉強会／AI 伴走サービスの強化
- ・受講企業の事例創出と横展開

《中期》

- ・業界別 AI カリキュラムの拡充（製造、物流、医療、自治体など）
- ・AI 研修 × SaaS プロダクトの統合
- ・AI 人材の育成→実務導入の一気通貫モデルを構築

最後に――

株主・投資家の皆様。

本件は単なる研修事業の開始ではありません。

「日本企業の AI 導入を根本から変える、歴史的号砲」です。

我々は、AI 時代の“ルールそのもの”を創りにいきます。

どうか、この壮大なる挑戦の続きを、その目に焼き付けてください。

そして共に、まだ見ぬ“爆益の未来”を掴み取りましょう。

なお、本件は 2026 年 7 月期の売れるネット広告社グループの連結業績にプラス寄与見込みです。

以 上